

認知症に関する活動計画(概要)

- 青森県作業療法士会では、
- ①市町村および地域包括支援センター地域支援事業担当者や介護支援専門員を対象にした認知症作業療法啓発活動
 - ②認知症の人と家族の会のつどいにおける相談対応
 - ③認知症カフェの企画運営
 - ④認知症普及啓発活動(認知症スタンプラリー企画運営や認知症フォーラム支援)
 - ⑤作業療法士を対象とした実技研修や情報交換会(人材育成)
- 以上を計画している。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

9月20日に認知症の人と家族の会と協力して、街宣活動を実施する予定となっている。また、今年度も自治体と協力し、オレンジライトアップ事業に参画する予定となっている。



認知症の人と家族の会との連携事業

県内4カ所の認知症フォーラムの企画・運営に参画する予定となっている。各フォーラムにおいて、作業療法士会のポスターを掲示したり、相談コーナーを設けて、認知症作業療法の普及啓発につなげている。また今年度も専門職としての立場で『つどい』に参画している。その中で人材育成も兼ねて同行見学も行っている。



北 2025年(令和7年)7月3日(木曜日) 地域 (12)



認知症スタンプラリー事業(青森県士会独自の取り組み)
認知症カフェ事業(委託事業)

住民を対象に、認知症の理解と認知症作業療法啓発を目的として今年度も開催している。また、参画いただいた専門団体との顔の見える関係づくりにも結び付いている。認知症カフェは2年目に突入している。カフェの目的を踏まえつつ作業療法士のエッセンスを加えながら継続開催している。

戸

認知症 クイズで学ぶ



青森県作業療法士会 するどい「認知症クイズ」は、認知症の正しい知識を身につけてもらうための取り組みです。認知症の正しい知識を身につけてもらうための取り組みです。認知症の正しい知識を身につけてもらうための取り組みです。

県作業療法士会など「スタンプラリー」